

2020年度12月22日 理事会議事録

1日時：2020年12月22日（火）19:00～20:40

2場所：ウェブ開催のため各自宅・職場

3参加理事：錠内・野々垣・木村・金山・佐々木・奥原・神保・玖島・遠藤・神田・
佐藤範・戸塚・澤口・佐藤良・西川（15名）

欠席理事：吉本・野本・大郷（3名）

欠席監事：鶴見・田中（2名）

4議事録署名人：錠内会長、神保理事、鶴見監事

5議決事項（議事の経過概要及び議決結果）

（1）事務局

1）重点課題 なし

2）審議事項

2－1）神奈川県建築士会後援及び講師派遣依頼

「住宅改修ワークショップ」2021年2月13日（土）13-17時オンライン開催
講師は遠藤理事で調整中。⇒承認

3）報告事項

3－1）OT協会

3－1－1）新コンピュータシステムの開発遅延について

2021年3月末の公開を目指すとのこと。

3－1－2）千葉県作業療法士会主催「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成
研修会（実践編）のお知らせ」

12月5日（土）～6日（日）千葉県立保健医療大学

3－1－3）臨時47都道府県委員会開催について

12月9日会長、木村副会長参加。OT協会の組織改編について意見交換を行ったことが理事会で報告される。

3－1－4）（一財）日本交通安全教育普及協会月刊誌「交通安全教育」12月号掲載記事
協会の運転と作業療法委員会が「高齢者および障害者に対する交通安全教育について - 作業療法士が行う運転適性評価と運転リハビリテーション -」を執筆。
制度対策部自動車運転班の渡邊氏に送付。

3－2）神奈川県

3－2－1）令和3年度地域リハビリテーション活動支援事業について

逗子市より依頼あり。

- 3-2-2) 2020 秋のかながわレッドリボン月間の実施について
11月16日～12月15日
- 3-2-3) 茅ヶ崎市自立支援型地域ケア個別会議について
遠藤毅氏（茅ヶ崎新北陵病院）に依頼。
- 3-2-4) 新型コロナウイルス感染症のまん延防止に係る本県の対応について
12月1日以降の催物の開催制限について、基本的に当面来年2月末まで維持すると連絡あり。
- 3-2-5) 新型コロナウイルス感染症のまん延防止に係る医療・福祉従事者応援動画の案内について
YouTube「かながわコロナ従事者応援」の周知依頼があり、ウェブサイト管理委員会に情報提供した。
- 3-2-6) 令和3年度作業療法士の派遣について
横須賀市より相談あり。詳細が未定のため再度連絡をもらう予定。
- 3-2-7) 相模原市障害支援区分判定等審査会委員
石井由梨氏（相模台病院）新規、佐々木秀一氏（北里大学病院）継続、佐藤隼氏（さがみりハビリテーション病院）継続、前場洋佑氏（北里大学）継続
⇒理事 ML 承認済
- 3-2-8) 重度障害者のテクノロジーを活用した社会参加への HP 協力依頼
制度対策部の沼田班長が協力していく。
- 3-3) 厚労省周知依頼
以下の項目について周知依頼があった。
 - 3-3-1) 介護ベッドに関する注意喚起について
 - 3-3-2) 新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第16報）
 - 3-3-3) 循環器病対策推進基本計画 閣議決定のお知らせ
 - 3-3-4) クラスターの早期探知・早期介入のための取組みについて
 - 3-3-5) 介護サービス事業所・施設等に勤務する職員に対する慰労金支給に係る協力の依頼について
 - 3-3-6) 介護施設・事業所における業務継続ガイドライン等について
 - 3-3-7) 社会福祉施設等におけるノロウイルスの感染症・食中毒予防対策について
 - 3-3-8) 「寒冷な場面における感染防止対策の徹底等について」及び「冬場における「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気方法」について
 - 3-3-9) 「地域がいきいき 集まろう！通いの場」ポスター、リーフレット及び動画の作成・公表について
 - 3-3-10) 職場における新型コロナウイルス感染症への感染予防、健康管理の強化

3-4) 関係団体

3-4-1) 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会のお知らせ

2020年11月20日～22日

3-4-2) 朝日新聞社 検討中の新規事業について

内容を確認後協力できるか検討する。

3-4-3) 神奈川県総合リハビリテーション事業団かながわりハケアフォーラム中止

3-4-4) 臨床検査技師会 賀詞交歓会中止

3-4-5) 神奈川県病院協会 賀詞交歓会中止

3-4-6) 神奈川県看護協会 賀詞交歓会中止

3-4-7) 神奈川県栄養士会 賀詞交歓会中止

3-4-8) 訪問リハビリテーション振興財団「第12回訪問リハビリテーション管理者養成研修会 STEP3」2021年1月16日(土)～1月17日(日)

3-4-9) 第9回訪問リハビリテーション管理者スキルアップ研修会

2021年2月20日(土)～2月21日(日) オンライン開催

3-4-10) 神奈川県病院協会より寄稿の依頼

錠内会長が対応中。

3-4-11) 愛知県言語聴覚士会

ウェブサイトに神奈川県士会のリンクを貼ってくれた。

3-4-12) 湘南ふれあい学園理事長大屋敷英志様より

お歳暮が届いた。お礼状発送済。

3-4-13) きょうされん「障害福祉についての法制度の拡充に関する請願署名・募金へのご協力をお願い」2021年4月まで

3-4-14) 第2回チーム医療推進協議会学会「with COVID-19 ～ コロナ禍でのチーム医療～」2021年2月21日(日) オンライン開催

3-5) 士会内

3-5-1) 年賀状 発送準備中

3-5-2) 臨床大会長の公募について

応募がきた際に会員か否か確認して学会評議委員に報告することとなった。

3-5-3) Zoomの本数増加について

現在使用中のZoomを理事会(主に理事が使用する会議)と部・委員会での会議用と研修会用の3本に増やす。研修会用のオプション(Zoomウェビナー、Zoom ROOM、追加クラウド)は次年度から使えるよう予算計上済。

(2) 財務部

1) 重点課題

1-1) 2021年度予算案について ⇒承認

- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項
- 3-1) 2021年度予算案概算 立案した。

(3) 学術部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項

3-1) オンライン研修会報告

参加人数については今後精査していく。

3-1-1) 新人でもわかる画像所見から読み解く高次脳機能と作業療法

10月25日(日) 時間:10:00~11:30(90分)

講師:渡部喬之氏(昭和大学横浜市北部病院)

参加人数:34名

3-1-2) メリデン版訪問家族支援について知ろう。～家族を丸ごと支援する～

11月8日(日) 時間:13:30~15:30(120分)

講師:篠崎安志氏(社会福祉士・横浜市青葉区社会保健センター)

松井洋子氏(看護師・訪問看護ステーションみのり)

参加人数:19名

3-1-3) 研究のはじめの一步～忙しい業務の中でどのように臨床研究を行うか

12月6日(日) 時間:10:00~11:30(90分)

講師:南里佑太氏(北里大学病院)

参加人数:12名

3-2) オンライン研修会予定

3-2-1) マネジメント,セルフマネジメントについて(仮)

2月6日(土) 時間:10:00~11:30(90分)

講師:福留大輔氏(旭中央病院)

参加予定人数:30名

3-2-2) 精神科分野の研修会「動機付け面接を学ぼう(仮)」

3月7日(日) 時間:13:30~15:30(120分)

講師:澤山透氏(相模が丘病院)

参加予定人数:30名

3-3) 学術誌刊行班より

神奈川県作業療法研究のvol.1~10までの合本「神奈川県作業療法 vol.1~10 2011-2020」を作成予定。これは神奈川県作業療法研究が昨年度で vol.10 の記念刊行を終え、一区切りとして行い、県士会事務局に所蔵(15冊、予算9万程度、相見積もり

済) 予定。作成後、大量のバックナンバーの処分を検討している。

(4) 教育部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 臨床実習指導者講習会

第3回 2月20日～21日 第4回 3月13日～14日

全てオンライン開催とし、講習会事務局は神奈川県立保健福祉大学に置く予定。OT協会を通じ厚労省へ申請済み。各回とも参加者公募、定員80名(合計160名)、参加者、講師等調整中。

3-2) 現職者共通研修

10テーマ+昨年度事例発表会延期分(事例報告、事例検討)、現職者選択研修(身体障害、精神障害)。事例報告登録制度研修は日程が組めず中止を検討。

全てオンライン開催にて計画中、参加者・講師調整中。研修会事務局は神奈川県立保健福祉大学に置く予定。

3-2) OT協会教育部生涯教育委員会生涯教育制度推進担当者会議参加報告

OT協会のコンピューターシステムの研修会履修履歴登録のシステム開発が遅延しているが、県士会主催研修会参加登録は推進担当者(神奈川県士会では教育部理事)が参加者名簿にて登録する。生涯教育制度の現状と課題として、現職者共通・選択研修、基礎ポイント研修等の開催方法、参加者募集、参加費徴収等の現状や課題が検討された。

現状ポイント化可能な研修会は、Zoomなどの相互方向可能な開催方法のみ。参加者履修履歴登録は参加者名簿による。参加者名簿の作成方法が当初の方法とは変更となるため、確認後必要があれば連絡する。現在は学部2研修会、認知症対策委員会1研修会の提出があった。もし他にあれば連絡する。

(5) 広報部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) ニュース班

3-1-1) 12月号について 送付された。

3-1-2) 2月号について 準備中。〆切12月11日(金)。夜間入稿も可。

3-1-3) アンケートについて

12月17日までウェブサイトでは会員向けの内容の希望に関するアンケートを実

施中。回答状況あまりよくないでの延長する可能性あり。

3-2) 対外広報班

3-2-1) 活動中止報告

10月介護フェア(中止報告あり)・ハローよこはま(中止報告あり)

11月かわさき介護いきいきフェア(ネットにて確認)

3-2-2) 活動中止予定

2月リハビリテーションケアフォーラム(中止連絡あり)

3-2-3) 活動予定

開催可否に関して未確定のため、随時確認予定。

1月~2月神奈川県介護支援専門員研究大会

3-2-4) まとめ

今年度のすべての活動が非実施。市民向けである対外的な活動継続方法について引き続き情報収集中。現状でも活動できる方法としては、ブース出展(体験・相談)よりも、SNS/メディア媒体での情報発信。以下、前向きに検討中の案をあげる(2020年度当初の活動計画にはないもの)。

①Instagramでの作業療法情報発信

他県士会(埼玉・長崎・広島・京都・三重・徳島など)なども実施中。

②神奈川県内のローカルラジオ番組でコーナーを持つ

金額確認中。例えば、FMさがみ(相模原)やFMかおん(海老名・県央)、FMブルー湘南(湘南)だと5~10分コーナーを持つと、約5~10万/月。契約は1~3か月更新などさまざま。交渉の余地もあるか。

他、様々な方法を継続検討中。

(6) 福利部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 求人関連(2020.10.3~12.14)

3-1-1) 新規掲載 29件

3-1-2) 変更依頼 3件

3-1-3) 削除依頼 3件

3-2) JAOT 特別功労表彰選考について

情報収集が困難であったため、今年度は「該当なし」とした。次年度に向け、情報収集の方法を検討していく。

3-3) 養成校向け勧誘チラシの作成

1月中旬までに作成し、事務局から各校へ郵送する。

(7) 地域リハビリテーション部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 地域リハ部事業状況

3-1-1) 地域リハビリテーション人材研修会

規模を縮小して実施の方向で調整。2・3月半日ウェブ開催予定。

3-1-2) 発達研修

ウェブ開催予定で調整

3-1-3) 他の研修会 中止

3-2) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

今年度の訪問リハ実務者研修会・初任者研修会をオンラインにて検討。

3-3) その他

3-3-1) 藤沢市地域ケア会議などのリハ専門職派遣、参加依頼 進行中。

3-3-2) 県介護予防アドバイザー業務

県アドバイザーへ各市町村への派遣依頼あり。開成町、海老名市が適宜対応。

3-3-3) OT協会地域包括ケア委員会のウェブ研修会

関東ブロック会議、各県士会の情報共有目的。遠藤理事と部員の札野氏が参加。

3-3-4) 県建築士会から

毎年、建築士会主催で作業療法士会協力依頼。後援依頼も来る予定。「専門職連携 住宅改修のワークショップ」を2月13日(土)開催。オンライン研修会で作業療法士会へ講師依頼もあり、講師調整中。

(8) 制度対策部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 生活行為工夫モデル事業の事例投稿に対するポイント付与について

本事業にて事例収集を行っているが、継続的な収集のために、そのインセンティブとして県士会ポイント付与を検討したい(協会としては問題なしとのこと)。他士会では、1事例1ポイント、最大2ポイント付与案が多い。しかし、すでに県士会活動をしている会員には2ポイント以上は付与できないということもある。神奈川としてもポイント付与できるように進めたい。

⇒他県士会の情報も集めつつ、継続審議とする。

3-2) 神奈川県子ども未来局 共生社会推進課 共生グループのプロジェクトについて

神奈川県共生社会アドバイザーの高野氏より、「重度障がい者のテクノロジーを活用した社会参加」のホームページ作成の協力として具体的な依頼文が送付される予定。具体的な協力内容として(1) 県作成のページへの助言(2) 県作成のページへの貴会員のコメント掲載(3) 事例紹介で御協力頂ける障がい当事者の方のご紹介(4) その他ホームページに関すること、となる予定。

(9) 規約委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項

3-1) 文書管理規程について

現在の規程の中にある公文書の定義が法的に正しいかという議論になる。現在事務局で取り扱っている書類がどのような種類があるか、また、各部・委員会で外部とのやり取りをしており、保管場所はどのようになっているかを確認し、聴取した上で見直していく方針となる。また、保管スペースを省略していくために、電子化の検討も同時に検討すべき、もし、書類の保管場所が少なくなってきたら貸金庫等の利用も検討する必要があるのでは、との意見も出る。

3-2) マニュアル整理のご協力の依頼

各部、委員会で管理されているマニュアルを規約委員会でも把握したい。マニュアルがある部、委員会は神田理事まで送付する。

(10) ウェブサイト管理委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項

3-1) 新コンテンツ「絵本で見る作業療法」

作成開始。それに伴い、先日14日に承認頂いた「著作権譲渡契約書」の運用も開始した。

(11) 学会評議委員会

1) 重点課題

1-1) 第18回神奈川県作業療法学会の開催について

1-1-1) 予算案

内容を確認。対面とオンラインの併用を検討中。 ⇒承認

1-1-2) 学会概要とスケジュールについて

オンライン開催を併用することで配信経費もかかることから、方法を模索して

いる段階である。全体のスケジュールを加味し、感染状況に伴う会場使用の形態の決定時期は次年度6月の理事会にて検討し、進めて行きたいと考えている。

1-1-2-1) 意見交換

佐々木：参加者予測は。

戸塚：350名+ウェブ参加150名の500名を考えている。

澤口：一般の方は無料となっているが、ウェブ視聴を可能にするなら参加費を検討してもよいのでは。

木村：経験から無料にするより資料代としてでも会費を回収した方が参加者を募りやすい印象がある。

戸塚：例年県民公開講座は無料で行なっているためそれに準じたが検討してもらおうよう実行委員に伝える。

木村：6カ月前の判断の理由は何か。

戸塚：ウェブのみとするのか、そうであれば会場はどうするのか等、学会運営を修正していくには6カ月前がギリギリとの判断。

⇒6月の理事会で検討することで承認される。

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 第18回神奈川県作業療法学会実行委員会の動向

2020年11月9日学会評議から学会実行委員会への引き継ぎ (Zoom)

2020年11月26日第2回実行委員会 (Zoom)

2020年12月パシフィコ横浜会場予約金 入金済み

3-2) 第5回神奈川県臨床作業療法大会の動向

2020年12月4日～2021年1月29日大会長の公募 (HP・県士会ニュース済み)

(1-2) 公益法人化対策委員会

1) 重点課題

1-1) リハビリ手帳会議報告

1-1-1) 9月10日 第4回会議 (第2回合同会議)

OT士会の意見 (手帳ありきではない／対象者を高齢者と限定せず、精神科など対象をより幅広く考えたい／情報共有ツールはICT化でそちらに移る (情報：現在すでに県内では県医師会を中心に県の事業として4地域で試行が始まっている) を述べる。また、内容をリハビリ手帳に限らず3士会が協働で使用できるものを目指せると良いか。対象者を高齢者としたが、広く活用してもらうには全年齢を対象とし、精神領域なども入れるべきと提案。各士会持ち帰り、理事会で審議依頼となった。(10月15日OT士会理事会渉外報告)

1-1-2) 11月上旬 PT士会担当理事との連絡内容

これまで PT 士会単独で行ってきた事業のため、どうしても対象の視点が高齢者のみになったり、精神科分野や ST 分野の情報が抜けてしまっていた。PT 士会としては今後 ICT 化され地域で情報が共有される際のフォーマットの候補となるべく『情報共有ツール』を PT だけでなく、OT や ST とも協働で作成していきたいと考えており、当然、精神科や ST などの情報も含めるものを作成したい。作成を検討する中で、派生するアイデア（OT 士会から提案した未病対策シート等）も実践していきたい。引き続き協力して欲しいとのことだった。

1-1-3) 11月25日 第6回会議（第3回合同会議）

「方向性と必要な情報な何か等」再度 3 士会にて共有する議論を行い、OT 士会の方針と一致した。OT 士会としては共有ツールに載せる情報として、精神や児童などではキャリアや人生観の情報などプラスの情報も紹介。大いに関心を持って頂けた。ST 士会からは「補聴器」「コミュニケーション」「食事形態」などの追加提案もあった。リハビリ手帳のネーミングも変える意見も出た。

次回は 2 月中旬に開催。それまでに各士会にて共有した方が良く考える情報を取りまとめる。ワーキングの設置（4 分野かつ急性期～維持期）。メンバーは理事有志を ML にて声かけ予定。

1-2) リハ手帳会議費などの予算化について（PT 士会からの依頼）

これまでは PT 士会が主催するリハ手帳作成委員会に OT 士会はオブザーバーで出席していたが、今後は 3 士会それぞれで会議費を出す位置づけをして頂くことで、より各士会の意見も反映されたものが作成できると提案あり。

印刷代等については、PT 士会は従来のものであるのでひとまず次年度も予算計上するが、OT 士会や ST 士会には求めない。あくまでも次年度予算で会議費の計上をお願いしたいとのことそのまゝ依頼する。

1-3) 次年度会議費の計上について

窓口担当：澤口理事（精神科も含む等、今回のとりまとめをしたので引き続き担当：公益事業ともなっていく）

会議回数：4 回+1 回（予備）＝計 5 回<ウェブ開催> 800 円×5 回=4,000 円

拠出先：事務局予算

2) 審議事項

2-1) 次年度事業計画の立案につき依頼

次年度は介護保険の改正年度でもあるが、このところ介護保険制度の改正や地域包括ケアシステムでもうたわれるもののひとつに、必ず一般市民の参加（介護予防事業等のボランティア活用など）がある。リハビリに関する知見は市民にニーズがあると考えられるので、これに限らず、次年度の事業計画（研修会等）以降では OT 士会会員も参加+市民（他職種）も参加できるように企画立案し、公益事業の拡大になるよう検討してほしい。

2-1-1) 意見交換

佐々木：どのくらいの企画数が必要か明確に出来ないか。

会長：現状は公益法人を目指すために、参加者の幅をひろげるという経験を積む時期であり、各部・委員会で何が出来るか、どのような工夫が出来るか検討してほしい。

澤口：参加者が「不特定多数」であることがポイント。予算ベースで判断されるので会員外に呼び掛けていくことがまず大切。もちろん、呼びかけたが参加者がいなかったという事実が改善されなければ指摘はされるかもしれない。

佐々木：講師に他職種や当事者の方を呼ぶことで、コラボ企画として参加者の幅を広げられるかも。検討していきたい。

遠藤：地域リハの研修会は、他職種とのコラボ企画も多く、ほとんどが公益事業にあたると考えている。周知にご協力いただきたい。

⇒従来の研修会で他職種が参加できるものを把握する。また、次年度の企画でできることを検討する。

3) 報告事項

3-1) 公益目的事業比率の算定につき、法人会計（管理費）の扱い方について再確認
法人会計（管理費；事務職員の給料や事務所の家賃、パソコンやプリンターのリース代など）などは公益事業を行う際には他の共益事業とも共通して使用があるので、公益法人においては「共通費を配賦する基準」が以下のようにある。

- ・建物面積比・・・家賃、建物保険料等
- ・職員数費・・・・・・・・福利厚生費、事務用消耗品費等
- ・従事割合・・・・・・・・給料、賞与、賃金、退職金、理事報酬等
- ・使用割合・・・・・・・・備品減価償却費、パソコンリース料等

これらは公益目的事業への従事割合に応じて公益目的事業費に配賦が可能。この確認ができたので、現在、比率を再精査中。少なくとも、前回報告した「当会の現在の達成率 5～10 数%」以上にはなるはず。

(1 3) 認知症対策委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) オンライン研修会開催結果

「認知症の基礎知識」11月25日（水）19:30～21:00

受講者 12名当日キャンセル1名

3-2) オンライン研修会開催予定

「評価に基づく暮らしの工夫」2月27日(土)14:00~16:30 予定

延期していた制度対策部福祉用具班とのコラボ研修で詳細は検討中。

本研修会前に行う研修会で本研修会の紹介をお願いしたい。協力してもよいという部署は認知症対策委員会へ連絡する。また、3月以降に行う予定の研修会があれば周知していくので認知症対策委員会に連絡する。

(14) 地域包括ケアシステム推進委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 横浜市事業検討会報告(日時:11月11日)

3-1-1) 上半期事業振り返りについて

- ・通いの場について横浜市は国レベルで指示がない限りは感染予防策をしながら活動は継続。
- ・区域のリハ連絡会と行政が絡むところは振り返りなど細かいことが出来ている。
- ・各区保健師のアンケートにはリハ職(POS)への地域へのかかわり方の視点が薄い人がいる、など指摘あり。
- ・地域ケア会議への参加も日程の調整など難しい面がある。
- ・11月現在の派遣回数(予定)は、全体159回(PT89回/OT34回/ST36回)。中止は84回(PT45回/OT23回/ST16回)。コロナ第3波によってさらに減る見込みあり。

3-2-1) 2021年度地域リハビリテーション活動支援事業と横浜市高齢者保健福祉計画/介護保険事業計画(=8期計画2021~2023年度)について

- ・国の健康づくりと介護予防の一体化を盛り込む内容になっている。

3-2-2) 課題

- ・インセンティブの中に「通いの場の参加者の評価」が入っており、誰が何を評価するのか不明確。
- ・限られたリハ職資源の派遣対象をどこにするのか(通いの場の定義の拡大を受け)。
- ・リハ職と他専門職との連携(歯科衛生士・栄養士ら)をどうするか。
- ・区域におけるリハ職との連携(連絡会、ネットワークの活用)。

3-2-3) 2021年度からの派遣件数

コロナの影響も考慮し微増、2021年度245件、2022年度250件、2023年度255件を見込む。

(15) その他

1) 2019年度事業評価について

2020年度の評価を行っている部署がいくつかあったので、送ринаおす。

2) 理事選挙について

HPでは12月28日締め切りとなっている。立候補者は期限を守って提出を。

3) 県事業について

12月で通いの場への派遣は終了。1月にウェブで報告会を開催予定。

(16) 渉外活動

1) 介護予防のための地域ケア個別会議

日にち；2020年10月15日 場所；逗子市市役所

会議参加者；吉本雅一氏(湘南鎌倉総合病院)、黒木裕介氏(葉山ハートセンター)

2) 介護予防のための地域ケア個別会議

日にち；2020年11月19日 場所；逗子市市役所

会議参加者；吉本雅一氏(湘南鎌倉総合病院)、黒木裕介氏(葉山ハートセンター)

6次回予定

(1) 臨時三役会 1月7日(木) 18:30～

(2) 臨時理事会 1月21日(木) 19:00～

以上、文責 金山

議事録署名人	議長：	錠内 広之	印
	理事：	神保 武則	印
	監事：	鶴見 隆彦	印